

ICOM

ご注意と保守について

IP ADVANCED RADIO SYSTEM

IP500M

安全上のご注意

安全にご使用いただくために、必ずお読みください。

- ◎ 使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくご使用いただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。
- ◎ 次の『△危険』『△警告』『△注意』の内容をよく理解してから本文をお読みください。
- ◎ お読みになったあとは、いつでも読める場所に大切に保管してください。

△危険	この記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
△警告	この記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
△注意	この記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

△危険

引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください。
火災、爆発の原因になります。

△警告

- ◎ 病院など、使用を禁止されている区域では電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を与える原因になります。
運用が必要な場合は、使用する区域の管理者から許可が得られるまで電源を入れないでください。
- ◎ マイクロホンのケーブルを持って、マイクロホンを振り回したり、投げたりしないでください。
本人やほかの人に当たり、けがや故障、および破損の原因になります。
- ◎ DC電源ケーブル(付属品)や接続ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、加熱したりしないでください。
ショートして、発火の原因になります。
- ◎ 接続がゆるかったり、DC電源ケーブル(付属品)や接続ケーブルが傷ついたりしたときは、使用しないでください。
ショートして、発火の原因になります。
- ◎ 長時間使用しないときは、安全のため本製品に接続する電源を取りはずしてください。
発熱、火災の原因になります。
- ◎ 雷が鳴り出したら、機器やアンテナ線、本製品のDC電源ケーブルや接続ケーブルには、絶対に触れないでください。
感電の原因になります。
- ◎ めれた手でDC電源ケーブル(付属品)、または本製品に触れないでください。
感電の原因になります。

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書では、本製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい注意事項や保守について説明しています。
お読みになったあとは、いつでも読める場所に大切に保管してください。

免責事項について

地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、本製品の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とは異なる使用方法で本製品を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
人命救助などを目的とした通信に本製品を使用し、通信の途絶、故障や誤作動、電池の消耗などにより、人命に関わる事態が生じても、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

△警告

- ◎ 指定以外のヒューズを使用しないでください。
火災、故障の原因になります。
- ◎ 赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。
感電、けがの原因になります。
- ◎ 下記の事項を守らないと、火災、感電、故障の原因になります。
 - 指定以外の電源や電圧を使用しないでください。
 - DC電源ケーブル(付属品)を接続するときは、⊕(プラス)と⊖(マイナス)の極性を間違えないように十分注意してください。
 - DC電源ケーブル(付属品)のヒューズホルダーを絶対に切断しないでください。
 - 本製品のDC電源ケーブルにホコリが付着した状態で使用しないでください。
 - 本製品のDC電源ケーブルや接続ケーブルの上に重いものを載せたり、挟んだりしないでください。
 - 指定以外のDC電源ケーブルを使用しないでください。
 - 線材のような金属物を入れたり、水につけたりしないでください。
 - 製品の分解や改造は、絶対にしないでください。
また、ご自分で修理しないでください。
- ◎ 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、使用しないでください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

△注意

- ◎ 針金などの細い棒で、マイクジャックに触れないでください。
故障の原因になることがあります。
- ◎ 本製品のマイクジャック部分に金属片やゴミを付着させないでください。
ショートして、発火の原因になることがあります。
- ◎ 長時間使用すると、無線機本体の温度が高くなりますので、無線機に触れないでください。
また、周囲の人が無線機に触れないようにご注意ください。
やけどすることがあります。
- ◎ ぐらついた台の上や傾いたところなど、無線機を不安定な場所に置いたり、設置したりしないでください。
落ちたり、倒れたりして火災、けが、故障の原因となることがあります。
- ◎ 直射日光の当たる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口など、温度変化の激しい場所に置かないでください。
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。
- ◎ 指定以外の別売品を使用しないでください。
故障の原因になることがあります。
- ◎ -10℃～+60℃以外の環境では使用しないでください。
使用温度範囲外でのご使用は、故障の原因になることがあります。
- ◎ 電気・電子機器の動作に障害を与える場合は、送信しないでください。
ラジオやテレビなどに電波障害を与えたり、プレーカーなどの機器が誤動作したりする原因になることがあります。
- ◎ 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
けが、故障の原因になることがあります。
- ◎ 本製品の上に乗ったり、ものを置いたりしないでください。
落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になることがあります。
- ◎ 清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。
ただし、ケーブルなどのプラグ(先端)部分は、絶対に水を含ませた布でふかないでください。

防塵/防水性能について

マイクロホン無線機本体に接続することで、IP54の防塵/防水性能があります。
次のような使いかたをすると、防塵/防水性能を維持できませんので、ご注意ください。

- 雨の中や水滴が付着、またはぬれた手で、マイクロホンや外部スピーカーを付けたり、はずしたりしたとき
- 防水スピーカーマイクロホン(HM-204)、またはテンキー付きマイクロホン(HM-230)*を接続していない、または正しく接続されていない
- 落としたりして、強い衝撃が加わったとき
- 本製品を分解、または改造したとき
- 蛇口からの水や湯を直接当てたとき
- 水や海水につけたとき
- -10～+60℃以外の環境で使用したとき

★お使いになる製品によっては、テンキー付きマイクロホン(HM-230)が付属しています。(※別売品としてもご用意しています。)

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

医用電気機器近くでの取り扱いについて

植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをご守りください。

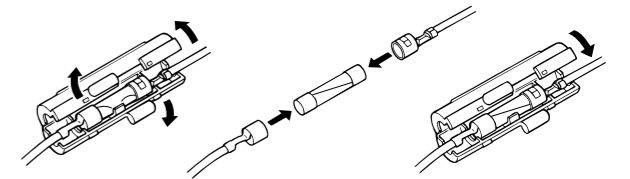
- ◎ 植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行、および使用してください。
電波により機器の作動に影響を与える場合があります。
- ◎ 身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品を使用しないでください。
電波により機器の作動に影響を与える場合があります。
- ◎ 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
 - 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。
 - 病棟内では、本製品を使用しないでください。
 - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品を使用しないでください。
 - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示にしたがってください。
- ◎ 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により機器の作動に影響を与える場合があります。

電波法についてのご注意

- ◎ 本製品は電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。
分解や改造をしないでください。
- ◎ 本製品を使用できるのは、日本国内に限られています。
本製品は、日本国内での使用を目的に設計・製造しています。
したがって、日本国外で使用された場合、本製品およびその他の機器を壊すおそれがあります。
また、その国の法令に抵触する場合がありますので、使用しないでください。
- ◎ 5.2/5.3GHz帯無線LANの使用は、電波法により、屋内に限定されています。

ヒューズの交換について

DC電源ケーブル(付属品)には、2本のヒューズ(125V/5A)が使用されています。
※ヒューズが切れて動作しなくなったときは、原因を取り除いてから新しいもの(付属品)と交換してください。



ファームウェアの自動更新について

本製品は、自動的にファームウェアが更新されることがありますので、あらかじめご了承ください。
※更新中は、本製品をご利用いただけませんのでご注意ください。

※本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

無線LAN機能をご使用いただくときのご注意

■無線LANについてのご注意

- ◎ 本製品の5GHz帯無線LANは、屋内使用に限定されています。DFS機能によりレーダー波を検出した場合、通話を継続するため、5.2GHz帯(屋内限定使用)のチャンネルに変更されることがあります。
- ◎ 5.6GHz帯の場合でも、屋外では使用しないでください。
- ◎ 自動車内は屋外となりますので、5GHz帯を使用できません。自動車内で無線LAN機能を利用する場合は、2.4GHz帯を使用してください。
- ◎ 心臓ペースメーカーを使用している人の近くで、本製品を使用しないでください。心臓ペースメーカーに電磁妨害を与え、生命に危険をおよぼすおそれがあります。
- ◎ 医療機器の近くで本製品を使用しないでください。医療機器に電磁妨害を与え、生命に危険をおよぼすおそれがあります。
- ◎ 電子レンジの近くで本製品を使用しないでください。電子レンジを使用すると電磁波の影響により、本製品の無線通信が妨害されるおそれがあります。

■無線LANの設置場所について

次の設置条件を考慮しないと、通信範囲や速度に影響します。

- ◎ 無線LAN用の内部アンテナは、本製品の前面部にあります。無線LAN機能をご利用になる場合は、通信の妨げにならない場所、および通信の妨げにならない方向に設置してください。
- ◎ 傾きがなく、落下の危険がない安定した場所に設置してください。
- ◎ 本製品の上にものを置いたり、本製品同士やほかの製品と重ねて置いたりしないでください。
- ◎ 通信範囲はオープンスペースで最も広くなりますが、倉庫の中のように大きな金属製の壁などがあると、電波を反射することがあります。電波は壁やガラスをある程度通過しますが、金属は通過しません。コンクリートの壁でも、金属補強材が埋め込まれているため、電波を遮断するものがあります。ガラスの場合も、「熱線吸収ガラス」や「熱線反射ガラス」など、電波を遮断するものがあります。
- ◎ 床にはふつう、鋼製の梁が入っており、金属製防火材が埋め込まれていることがあります。そのため多くの場合、異なる階に設置した無線LANとは通信できません。

■セキュリティについてのお知らせ

無線LAN製品をご使用になるときは、下記のURLにアクセスしていただき、「無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意」をご覧ください。

http://www.icom.co.jp/network_security/

■2.4GHz無線LANの電波干渉についてのご注意

2.4GHz帯の無線LANで通信するときは、次のことがらに注意してください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を必要とする無線局)および特定小電力無線局(免許を必要としない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を必要とする無線局)が運用されています。

- ◎ この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
- ◎ 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記のサポートセンターにご連絡いただき、混信回避のための処置等についてご相談ください。
- ◎ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、下記へお問い合わせください。
お問い合わせ先
アイコム株式会社 サポートセンター
0120-156-313 (フリーダイヤル)
◆ 携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、
06-6792-4949 (通話料がかかります)
受付 (平日 9:00~17:00)

■表記の意味について

- 「2.4」 : 2.4GHz帯を使用する無線設備
- 「DS/OF」 : DS-SS方式/OFDM方式
- 「4」 : 想定干渉距離が40m以下
- 「----」 : 全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局の帯域を回避可能

2.4DS/OF4

■40MHz帯域幅通信をするときの手引き

- ◎ 無線LAN通信で40MHz帯域幅モードをご使用になる場合、周囲の電波環境を事前に確認して、ほかの無線局に電波干渉を与えないようにしてください。
 - ◎ 万一、本製品から、ほかの無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、[帯域幅]欄を「20MHz」(初期値)でご使用ください。
- ※帯域幅モードについて詳しくは、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

USBメモリーによる自動設定機能

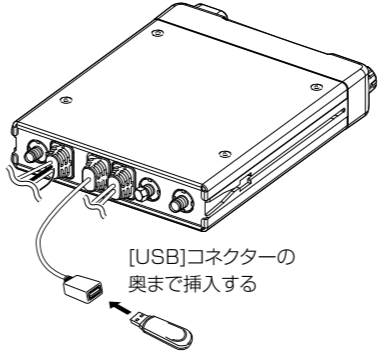
初期値では、本製品のUSBメモリーによる自動設定機能は「無効」に設定されています。

本製品のWEB画面で[USB設定]を「有効」に変更すると、本製品の[USB]コネクタにUSBメモリー*を接続して電源を入れたときに、設定ファイル(本製品の設定が保存されたファイル)がUSBメモリーから本製品に自動で読み込まれます。

また、設定内容を変更した場合は、設定ファイル(bakdata.sav)が本製品に接続したUSBメモリーに自動バックアップされます。

★USBメモリーは、本製品に付属していません。

※設定や使用方法など、詳しくはIP500M取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。



取り扱い上のご注意

- ◎ サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- ◎ 直射日光の当たる場所に設置したり、長時間放置したりしないでください。移動局として車内に設置する場合、炎天下では、車内の温度が極端に上昇し、本製品に悪影響を与えます。また、真冬は、ある程度車内の温度を上げてからご使用ください。
- ◎ 車載運用では、バッテリー保護のためにも、1日の使用が終わったときは、必ず本製品の電源を切ってください。
- ◎ 磁気カードを無線機に近づけないでください。磁気カードの内容が消去されることがあります。
- ◎ パソコンやその他の周辺機器の取り扱いは、それぞれに付属する取扱説明書に記載する内容にしたがってください。
- ◎ 本製品が原因で発生した債務不履行、または不法行為に基づく損害賠償の責任は、当社に故意、または過失のある場合を除いて、本製品の購入代金と同等金額を上限といたします。
- ◎ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修理、または瑕疵のない同一製品、もしくは同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責任は一切負いません。
- ◎ 本製品の故障、誤動作、不具合、停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

登録商標/著作権について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、コマンドマイクは、アイコム株式会社の登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。本書の内容の一部または全部を無断で複製/転用することは、禁止されています。

対応するUSBの規格

- ◎インターフェース : USB2.0/1.1 (USB3.0接続時は、USB2.0で動作します。)
- ◎デバイス : USB大容量デバイス (USB Mass Storage Class)
- ◎フォーマット : FAT16/FAT32 (exFATやNTFSなど、ほかのフォーマットには対応していません。)

※すべてのUSB対応周辺機器で動作を保証するものではありません。

USBメモリー使用時のご注意

- ◎指紋認証型、アプリケーション認証(パスワード認証)型など、セキュリティ対応型のUSBメモリーは使用できません。
- ◎ご使用になる前に、あらかじめ、USBメモリー内のデータをバックアップしてください。
- ◎データ保護のため、必ず本製品の電源を切ってから、USBメモリーの接続や取りはずしをしてください。
- ◎USBメモリーにアクセス中(MSGランプ緑点灯中)は、絶対にUSBメモリーを取りはずさないでください。ファイルの消失や故障の原因になります。
- ◎USBメモリーを差し込むときは、形状と差し込み方向に注意して、奥まで確実に差し込んでください。
- ◎設定を復元する直前の設定値は、設定ファイル(bakdata.sav)として、本製品に接続したUSBメモリーにバックアップされます。

アフターサービスについて

取扱説明書にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●保証書について

保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

●弊社製品の技術的なお問い合わせ先について

お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先

アイコム株式会社 サポートセンター
0120-156-313 (フリーダイヤル)
◆ 携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、
06-6792-4949 (通話料がかかります)
受付 (平日 9:00~17:00)
電子メール : support_center@icom.co.jp
アイコムホームページ : <http://www.icom.co.jp/>

高品質がテーマです。

アイコム株式会社

547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

A-7298W-1J-② Printed in Japan © 2016~2017 Icom Inc.